



理由その6： ドイツ車とは違う実用車の美学

Le Ucg

6ère raison :

L'esthétique d'une voiture fonctionnelle différente des autres



Il s'agit d'une série d'ouvrages d'entretien destinés aux C3. Ils couvrent les modèles à moteur à essence 1,1 / 1,4 / 1,6 l et turbo diesel HDi 1,4 l allant de 2002 à 2005. Comme pour ceux destinés à d'autres types de véhicules, ils contiennent de nombreuses photos et illustrations présentant les points de contrôle technique et leur méthode en fonction du kilométrage avec notamment une échelle de difficulté allant jusqu'à 5 pour chaque étape de l'entretien faisant d'eux des manuels parfaitement accessibles aux débutants. Lorsque l'on roule sur une route de campagne en France, il n'est pas rare de croiser des cyclistes qu'on peut même appeler « coureurs » dont leur vitesse est impressionnante. Bien entendu,

ses distributeurs dans l'archipel qui ont pour leurs fruits. D'ailleurs, on peut dire que des marques comme Volvo ont déjà s'antérieurement à Peugeot s'affirmer brillamment sur le marché. On ne peut ni la présence d'éléments vendeurs comme déclinaison d'une gamme qu'on croirait née pour le marché japonais, sachant entretenir l'intérêt

Numéro d'août d'UCG
vente dès le 2 juillet
conseillé : 500¥(TTC)
AOUT 2007 8



RENAULT KANGOO

フランスは実用車を作らせたらピカイチの国。だから日本のルノーの一番人気はカンゴだ。欧州では商用車として使われることが多いものの、日本では一風変わったミニバンの趣。ATとMTが設定されているのも人気の秘密で、まさに趣味と実益を融合させている。

必要に迫られてのモノ選びというのは、夢のない選択肢を前に懐具合と相談するということになりがちである。懐具合もかえりみず、必要に迫られない超絶スポーツカーを夢見るのとは真逆の行為である。つまらん。

しかし人生においての買い物は、こと家族持ちになってからの買い物は往々にして必要に迫られてしまうのである。お手頃価格で荷物ももばっちり積めるハイトワゴンの必要に迫られた奥さんに、日頃クルマ雑誌を読んでいるオーナーは「なんかいいの？」と聞かれる。かっちょいいスポーツカーやクーペなんかには明るいオーナー、慌てて雑誌の新車リストを眺めてみるが、国産のそれらしい車名を見てクルマの形すら思い浮かばない。お手頃価格って条件さえ外してくれればな……なんてよこしまな気持ちが持ち上がってくるころ、深層から聞こえてくるのだ。あるじゃない、カンゴがあるじゃない。

今回試乗したのは07年モデルのカンゴ1.6

のAT車。07年5月末にうけたマイナーチェンジによって、新たにボディカラーが増え、シート地が変わり、荷室に12V電源が付いたが、基本的にはシャープな顔つきにフェイスリフトを受けた03年のマイナーチェンジ以降のモデルと同様。1.6ℓのDOHCエンジンを積む、いわゆるフェイス2である。

ついでなのでおさらいしておくと、02年3月の日本導入時は1.4ℓの直4SOHCと4段ATのみ、リアゲートは上に開くハッチバックのみの設定だった。これが03年8月のマイナーチェンジで1.6ℓ直4DOHCが搭載され、リアゲートはハッチバックに加え観音開きのダブルバックも用意される。シートがややホールド性を増した形状になり、オプションでパノラミックサンルーフが設定され、後述のチャイルドミラーや後席のピクニックテーブルが装備されたのもこの時。このマイナーチェンジ当初はやはり4段ATのみの設定だったが、



後に5段MTも加わる。それに小変更を加えたのが今回試乗した07年モデル。いわば標準設定が4段AT、注文生産で5段MTも用意されるが、リアゲートは観音開きのみとなっている。あんまり変わっていないようでいて、いろいろ選択肢があるので、好みや用途などに合わせた、ぴったりな1台に出会えることをお祈りしています。

商用生まれならではの

というわけで、なごみ系の顔で日本に導入されたフェイス1には、かつてNAVI在籍中に長期リ



見切りとスペース効率の良さそうなスクエアなボディが特長だが、実用性に優れた大きなドアモールやカーブを描くフェンダーアーチなど、フランス流のセンスはそこかしこに感じることができる。それはインテリアにも通じており、充実装備とはいえないが使い勝手に優れた空間となっている。また写真でわかるように開口部が広く積載性にも優れており、ルーフ部分にも収納ボックスを備える。まさに使い方はオーナー次第。

ポート車として編集部にあっただけよくお世話になった。長期リポート担当者から借り受けて筆者の先生とカメラマン氏を乗せ、仙台まで取材に走ったのを憶えている。街中では必要にして充分、またフランスの実用車ならこうでなくちゃとすら思っていた1.4ℓ SOHCエンジンが、東北自動車道上でベタ踏みで距離を重ねるごとに憎々しく思えていったのもまた鮮明に思い出す。帰京後カンゲー担当者にキーを返却する際には、シート良さや高速での直進安定性といった道中車内で感心したことはすっかり忘れて、「おっせ～な～、これ」としか感想を告げなかったことを、遅

ればせながらこの場を借りて謝りたい。

そんな1.4ℓ エンジンの印象からすると、なにせ快活な1.6ℓ。フランス車ツウのみなさまからは叱られるかもしれませんが、ピバ・ツインカムである。アクセルペダルから伝わってくる、低回転域から元気で高効率な感じがうれしい。

いやこれは偏った第一印象。カンゲーとしてまず特筆すべきは室内空間の広さ、直立系の大きなガラス面が生み出す温室なみの明るさだろう。なにせ天井が高い。身長157cmの私がドライバーズシートで両手を上げてちょうど指先が付くぐらい。後席では、背もたれに身を

預けていると天井に指は届かない。背筋を起こしてようやく指先が付くといった具合だ。そういえばカンゲーはシート高も調整できず、ステアリングコラムはチルトもテレスコピックもない。小柄女子である私にドライビングポジションの不具合はなかったのだが、それでみんな大丈夫なんだろうか？ お買い求めの際はちゃんと座って確認してみてください。

同様に広々なのが荷室空間。しかも荷室の床はさあ汚せとばかりの樹脂製で、4ヵ所にフックも用意され、働く気満々である。トノーカバーは樹脂製のボードで、上にものを置くことも可能。

6:4分割可倒式シートバックやダブルフォールディング式に収納可能なシートを使いこなせば、まず荷物に困ることはなさそうだ。前輪も外さず自転車を立てて積んだ経験もある。その時ありがたかったのは膝丈ほどのフロアの低さと、バンパーやドア枠などでぱりにじゃまされることなく荷室が最後までフラットであること。さすがは商用で鍛えられた使い勝手のよさである。小物収納にしても、ダッシュまわりは見せる収納が得意な人向けのフタなしだけ物置きは充分。高さを生かして前席頭上には棚があるし、同じく後席両サイド上部にはコンソールボックスもついている。

ぜひファミリーユースで

カンゲーのイメージといえばおしゃれに乗れる道具っぽいクルマ。ヨーロッパでは郵便屋さんや水道屋さんが乗ってるけども、日本ではおしゃれなインテリア関係やフラワーアレンジメントなんかで起業してる女性の足にぴったり、みたいな。要はカンゲーの前身であるエクスプレスから引き継いだイメージそのままだった。しかし今回の試乗でルームミラーの上に、サンガラス入れにしては小振りだなあと開けてみたら後部座席に座らせた子供を見るための「チ

ヤイルドミラー」なるものが出てきて、なんていうかこのかゆいところに手が届くこの感じ。もう間違っても水道屋さんのクルマではないのですよ。後席にはピクニックテーブルまで付いてるし。堂々とファミリー仕様になっとるわけで、迫られた「必要」にもぼっちり対応できちゃう。それでいておしゃれなおフランス流生活上手な匂いをプンプンまとってる。

つまらなくなりがちなもの、ガツンと大逆転できる、こんなおいしいクルマって、カンゲーしかないじゃない？

Text:竹井あきら/Photo:五條伴好